

市民百景

第18回

多くの人から頼られる看護師を目指して

医療従事者不足の解消に最前線で貢献

せいてつ記念病院

看護師

佐藤

あやみ
綺美さん
(22)



「医療従事者不足の解消に貢献し、患者さんからも職場の人からも頼られる看護師になりたい」そう語るのは、せいてつ記念病院で看護師として働く佐藤綺美さん。佐藤さんは石川県の金沢医科大学に同大学の奨学金制度「釜石枠」と市の奨学金を利用して進学。卒業後、本年4月に地元である釜石にUターンしました。地元に戻って働こうと思ったのは、これらの奨学金制度があったからこそだと話します。

佐藤さんは、小学2年生の時に東日本大震災を経験し、避難所で懸命に働く医療従事者の姿が今でも心に残っているそうです。もともと親族にも医療に関わる仕事に就いている人が多かったことも後押しとなり、自然と医療の道を志すようになったと振り返ります。

釜石に戻ってからは、毎日忙しく、医療従事者不足を現場で実感している佐藤さん。「今は日々の業務をこなすのに精いっぱい、覚えることが多く、正直不安です」と口にする場面もありました。

それでも「患者さんにも、職場の皆さんにも頼ってもらえる看護師になれるように、もっと勉強して成長したい」と力強く前を見据えています。

「釜石枠を活用してUターンするのは私が初めてですが、来年には後輩も戻って来る予定なので、今はそれが楽しみ」と笑みをこぼしました。



「すこやかアイドル」では、お子さんの笑顔とご家族のメッセージを紹介します。1～5歳くらいのお子さんの写真を広報に掲載しませんか？市オープンシティ・プロモーション室（☎27-8463）または市のホームページからご連絡ください



左側
ひとみ
川村 仁望 ちゃん
(3歳)

右側
みのり
川村 美仁 ちゃん
(1歳)

これからも仲良し姉妹で楽しく過ごそうね♡



ゆな
小崎 結心 ちゃん
(3歳)

たくさん遊んで
元気に育ってね！



釜石市 LINE 【公式】



釜石市 X 【公式】



釜石市 Instagram 【公式】

